



ごあいさつ

取締役社長 川口 将一

弊社を昭和17年に創業し、戦後中部電力殿の関係会社として終始温かいご支援、ご鞭達を賜わりながら、また、東京電力殿をはじめ、多くのお客様からのご厚情ある取引を願い、更にご同業の関係各社からも、親切なご協力をいただいで、ここに、40有余年たちました。その間変圧器を中心に、小型モータや家電製品のOEM等を手掛け、電力業界、一般産業界に些か貢献して来たものと自負いたしております。

変圧器にあっては、超高圧大容量変圧器に関して、オーストリアのエリンウニオン社より、その基幹技術を導入し、冷凍機用モータについては、アメリカのエマーソン社と技提・合併の事業を始め、その時機に応じた技術の向上と拡大を図ってまいりました。このような時期を経て、弊社も早くから半導体技術の培養に意を用い、中部電力総合技術研究所殿との共同研究等の機会を通して、半導体応用機器、マイクロコンピュータ利用の通信制御システム等、時には大学のご指導も受けながら、新技術の分野の拡大と向上に努力してまいりました。

これらの技術は変圧器と結合して大電力変換装置に、またモータと結合して直流ブラシレスモータに、はたまた、電子制御機能付の家電機器等の製品群にも拡大しております。このように新しい技術は弊社の製品の種類を拡大するとともに、若い研究者・技術者に自己啓発の機会を増やし、従業員の相互啓発に対してもインパクトを与えてくれました。

LSIからVLSIへ、オプトエレクトロニクス、ニューセラミック等、ハイテク及び高度情報社会への進行は私達を取り巻く環境を大きく変化させて行くと思えます。このような時代にあつて、私共は自己の保有する技術を更に深めると共に、これらの新しい技術を積極的に取り入れて、経営の合理化を図り、生産性の向上に努め、高度技術社会に必要とされるものを送り出して行かねばなりません。これらの諸問題に取り組む私共の若い研究者・技術者の不断の努力の成果を世に問う手段として今回「愛知電機技報」を発刊することにいたしました。

この技報をお客様とのもう一つのチャンネルとして、ユーザーの皆様のご意見をいただき、研究開発の指針の一助として活用して行きたいと思っております。この技報は私どもの技術的成果の発表とはいうものの、未だ力不足であることは自認せざるを得ません。今後皆様方の温かいご支援をお願いして、小粒ではありますが息のながい技術開発を進めるための道標にしたいと思っております。もちろん時代の要請のためには技術導入等もあわせ考えますが、独自の技術開発により、一層の努力を重ねる事によって、自己の技術を更にたかめ、そして、この技報をユーザーの皆様にご満足いただける新商品を送り続けて行く励みの場の一助にしたいと思っております。

社会に貢献し、21世紀に向かつての私共の努力は余りにも小さいかも知れませんが、私達のこの小さな努力をこの技報を通して少しでもご理解いただきまして、今後ますますのご愛顧をお願い申し上げ、発刊のご挨拶とさせていただきます。